

事業所名 放課後等デイサービス 元気の学校

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

11日

法人（事業所）理念		法人：高齢者・障がい者・児童年齢や特性をお互いに理解し、地域と共に共存し協力することで皆様の笑顔を目指す。 事業所：将来社会へ出た時に、必要になる「生きる力」を「楽しさ」の中からつけていく。					
支援方針		運動プログラムや集団活動体験を軸とし、様々な活動の経験の中からスモールステップで成長を促していきます。 子供の成長に合わせた適切な支援の提供と支援の質の向上。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食育活動を通して様々な形態や味を食べる経験を積み、食事の楽しさや感覚の過敏さの軽減を楽しく実施する。 全身の清潔と全身状態の観察を行い、衣類着脱や身だしなみを整える練習を行う。 タイムスケジュールにより排泄の習慣を身に付ける。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。					
	運動・感覚	PT/OTによる計画的なリハビリ（全身の筋トレ・関節可動域訓練）の実施により骨の変形の予防や現状の持続。 体操やマッサージにより固有感覚や触覚への刺激を促し、身体図式を明確にする。繰り返しの動作の実施により慣れと学びを促す。 ストレッチや運動遊びによりボディイメージをつける事で生活動作がスムーズに行える。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。					
	認知・行動	製作・調理などの活動により手先指先を使用する事により物を介した感覚を認知し、一つの作品を作りあげる喜びや達成感を味わう。 一年を通して季節に合った行事を体験する事により季節の流れや時間の流れを体験する。 タイムスケジュールに沿ってタイマーや時計を使用することで時間や次への行動への見通しの把握を行い習慣化する事で自発的行動を芽生えさせ自立に向けていく。 個人の発達段階に合った介入を行い成長発達を促す。					
	言語 コミュニケーション	サインやティーチを使い相手へ自分の気持ちが伝えられる環境を整え、自己表現する手段を学び、他者へ伝える喜びを知り、意思疎通ができる体験をする。 言語による他者に自己意思を伝える練習を行い、伝わった時の喜びを体験する。 他者との関わりの中で相手の気持ちの汲み取りができるよう代弁・介入を行う。 個人の発達に応じた介入を行い成長を促す。					
	人間関係 社会性	事業所職員と関わり人間関係を構築する。事業所職員と継続的に関わる事により、信頼関係を継続し安心感を得る。 他の利用者との関わりを通し、同世代以外の年齢の他者との関わりの中で、他者存在を知る機会を作り、集団活動にて共同作業を行う事により他者への興味関心を深めていく。 集団活動を通して協力して一つの事を成し遂げる感覚を得、他者と同じ体験を共有し一体感を得る。 個人の発達に応じた介入を行い成長を促す。					
家族支援		日常生活において社会資源が足りているか確認し必要であればアドバイスを行う。 兄弟・姉妹の関わりやケアについて必要な情報を与える。生活動作や行動に困り感があれば助言・提案を行う。			移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた地位生活の場や育ちの場との交流や情報交換を行う。 地域とつながりながら日常生活を送るため、地域住民との交流を行う。
地域支援・地域連携		他の事業所との交流・情報交換を行う。 地域連携会議への参加。			職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加。
主な行事等		季節の行事 近隣施設・公園へのおでかけ 調理 運動プログラム 買い物学習 交流イベントへの参加					